

年 組 名前：

子ども110番の「畑」で見守り

笛吹・一宮福祉推進委が看板



子どもの通学路沿いの畑に設置している「子ども110番の畑」の看板。設置者は子どもたちへのあいさつや見守りを行う 一宮吹市一宮町竹原田



市社会福祉協議会による「取組みは犯罪や事故の発生を防ぎ、子どもが安全に過ごせる環境をつくることなどを目的に2023年に始まった。看板には「子ども110番の畑」と大きく書かれ、「こわいことあったことがあったら、このはたけのおじさん・おばさんにごえかけて」と記されている。

これまでに同市一宮町中や一宮町竹原田など計30カ所の畑に設置している。推進委員会の依頼や、看板設置を希望する住民の協力で

活動に賛同する企業などから看板の寄贈を受けていて、2月13日には市ゴルフ連盟一宮支部が桃畑用とブドウ畑用の看板計10枚を贈った。推進委員会の風間一幸副委員長（63）は「地域住民に設置を協力してもらえればうれしい。市全体だけでなく、他の自治体にも広がってほしい」と話している。

安心して暮らせる地域づくりに取り組む笛吹市の「一宮地区地域福祉推進委員会」は、地域の子もたちを守るための「子ども110番の畑」の看板設置に取り組んでいる。看板は子どもたちの通学路沿いの畑に掲示し、設置者は子どもたちへのあいさつや見守り活動を行う。同委員会は「果樹地帯の特性を生かした取り組みで、畑に看板があることで犯罪の抑止力にもなる。多くの人に知ってもらいたい」と話している。〈鈴木なつ美〉

(2025年3月6日付 山梨日日新聞 21面)

問1

笛吹市の「^{かんぼん}一宮地区^{ふえふきし}地域福祉推進委員会」が、^{はたけ}畑に^{かんぼん}看板を設置した^{せつち}理由を^{りゆう}答えてください。^{こた}

.....

問2

これまでに^{かんぼん}看板を、^{ふえふきし}笛吹市のどこに、^{なんかしよせつち}何カ所設置しましたか。

.....

問3

^{すいしんいんかい}推進委員会の^{かざま}風間さんは、この^{とく}取り組みが、どのようにな^よれば良^{はな}いと話していますか。

.....